

東京学芸大学 パッケージ型支援プロジェクト



平成 29 年度成果報告シンポジウム ～子どもの貧困と教育にできること～

2018年 3月 18日 (日)

10:30～17:00

東京国際フォーラム D1 会議室

近年、様々な調査・研究によって、教育格差や貧困の世代間連鎖（再生産）が日本社会の重要な問題として指摘されています。社会的排除や潜在能力の欠如など、様々な問題と絡み合う児童・生徒の経済的困難の問題に対して、総合的・包括的な教育・支援のアプローチを行うことを通じて、誰もが幸福な生活を営むことができるような社会を実現することは日本における喫緊の課題となっています。

東京学芸大学パッケージ型支援プロジェクトでは、教育を核にして多領域の専門家が結集し、現代的な教育課題である「子どもの貧困」問題に対して学際的に研究を行うとともに、教育現場と連携・協働しながら様々な取り組みを進めています。

シンポジウムでは、経済的困難性を抱える児童・生徒への、「学校」をプラットフォームにした包括的支援（パッケージ型支援）システムや取り組みのモデルを、実践的研究の成果を報告することを通じて提示し、子どもに関わる教員・教育支援者等、教育関係者がより良い子どもとの関わりを実現することができるような教育・教育支援のあり方について議論します。



参加費無料 定員 80 名

事前申し込みはこちらから

<http://ccss.tokyo/archives/1098>

ページから入力フォームにアクセスしてください

対象：学校教員、教育支援専門職（スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等）、教育委員会関係者、NPO など教育支援活動団体関係者、貧困支援に関わる民間団体・企業、地域での支援者、大学教員、学生、市民

Program

10:30 開会挨拶

出口 利定 (東京学芸大学 学長)

10:35 問題関心と目的

朝倉 隆司 (東京学芸大学 児童・生徒支援連携センター センター長)

10:40 プロジェクトの概要説明

入江 優子 (東京学芸大学 児童・生徒支援連携センター 准教授)

10:50 講演「教育格差と学校における諸問題」

坪田 知広 (文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課長)

11:10

第一部「包摂型社会に寄与する学校プラットフォーム」

(各報告 10 分、全体ディスカッション 30 分)

司会：伊藤 秀樹 (東京学芸大学 教育学講座 講師)

1) 社会政策としての学校教育を考える

松川 誠一 (東京学芸大学 社会科学講座 教授)

2) 多様なニーズを持つ子どもたちを支援する校内支援体制

小野 學 (東京学芸大学 児童・生徒支援連携センター 特命准教授)

3) 学校教員とスクールソーシャルワーカーの連携

馬場 幸子 (東京学芸大学 生活科学講座 准教授)

4) レディネスの格差に対応した授業デザイン

大澤 克美 (東京学芸大学 人文科学講座 教授)

5) 教員の長時間労働と子どもの貧困

伊藤 秀樹 (東京学芸大学 教育学講座 講師)

★「見えにくい」と言われる子どもの貧困に気づき、適切な支援へと繋いだり、個別の状況に応じた教育的配慮を行ったりすることを可能にするための学校教育のあり方について議論します

12:30～13:40 昼休憩 (70 分)

13:40

第二部「各種教育支援手法の開発」

(各報告 10 分、全体ディスカッション 20 分)

司会：朝倉 隆司 (東京学芸大学 児童・生徒支援連携センター センター長)

1) ICT を活用した遠隔地からの個別学習支援

北澤 武 (東京学芸大学 技術・情報科学講座 准教授)

2) 読み書き能力支援

小池 敏英 (東京学芸大学 特別支援科学講座 教授)

3) 地域における共育モデルの開発

鉄矢 悦朗 (東京学芸大学 美術・書道講座 教授)

★貧困状況と関連して生じる教育機会や能力の格差に対応した専門的な教育支援の手法を、教育現場との連携・協働による実践を交えながら報告します

14:30～14:40 休憩 (10 分)

14:40

第三部「現代的な教育課題に対応した

教員養成系大学・附属学校の機能強化」

(各報告 15 分、全体ディスカッション 45 分)

司会：松田 恵司 (東京学芸大学 パッケージ型支援プロジェクト主査 副学長)

1) 附属学校・自治体と連携した学習・進学支援

入江 優子 (東京学芸大学 児童・生徒支援連携センター 准教授)

勝岡 幸雄 (東京学芸大学 附属竹早中学校 副校長)

2) 附属学校における経済的支援の体制づくり

呉本 啓郎 (全国国立大学附属学校 PTA 連合会 会長)

板倉 雄一郎 (全国国立大学附属学校 PTA 連合会 財務委員長)

3) 貧困に関わる教員・教育支援者の研修・養成プログラム

竹鼻 ゆかり (東京学芸大学 養護教育講座 教授)

4) 教員養成系大学におけるサービスラーニング

田嶋 大樹 (東京学芸大学 児童・生徒支援連携センター 特命助教)

CCSS 学生チーム (大学生・大学院生)

5) 附属学校・地域と連携した放課後教育モデル

森山 進一郎 (東京学芸大学 健康・スポーツ科学講座 准教授)

田嶋 大樹 (東京学芸大学 児童・生徒支援連携センター 特命助教)

★「附属学校への進学や在学中の支援」、「大学のカリキュラム開発・社会貢献」、「教員・教育支援者の養成・研修」、「放課後教育」等に関して、プロジェクトが開発しているモデルを提示し、「子どもの貧困」という現代的な教育課題に対応した教員養成系大学や国立大学附属学校の機能強化の具体的なあり方について議論します

16:40 総括

東京学芸大学 パッケージ型支援プロジェクト主査 副学長 松田 恵司

16:55 閉会挨拶

東京学芸大学 児童・生徒支援連携センター センター長 朝倉 隆司

17:30～19:30 懇親会・情報交換会 (希望制)

@東京国際フォーラム内飲食店を予定

東京国際フォーラム D1 会議室

〒100-0005

東京都千代田区丸の内 3 丁目 5 番 1 号 (代表電話：03-5221-9000)

★主な交通アクセス

- 【JR 線】 有楽町駅より徒歩 1 分
東京駅より徒歩 5 分 (京葉線東京駅と B1F 地下コンコースにて連絡)
- 【地下鉄】 有楽町線：有楽町駅 (B1F 地下コンコースにて連絡)
丸の内線：銀座駅より徒歩 5 分
銀座線：銀座駅より徒歩 7 分 京橋駅より徒歩 7 分

※シンポジウムの内容や申し込みに関するお問い合わせは、以下までご連絡ください。

東京学芸大学パッケージ型支援プロジェクト 児童・生徒支援連携センター

TEL:042-329-7921

MAIL:ccss@u-gakugei.ac.jp

Place

